

# 巻頭特集 30,000個のふうせんに夢を乗せて！ 春日井青年会議所 50年目の挑戦



30,000個のふうせんに、みんなの夢を乗せて春日井の空へ放とう！というイベントが、9月16日(日)に中央公園にて開催されます。このイベントを企画・運営するのが、今年設立50周年を迎えた公益社団法人春日井青年会議所(以下:春日井JC)のみなさんです。この壮大なイベントに込められた想いとは？

## 春日井JCで脈々と引き継がれる若者たちの熱い想い

春日井青年会議所、春日井JCという言葉は聞いたことのあるけれど、よく知らないという方が多いのではないのでしょうか？それでも、わいわいカーニバルや春日井まつりと言えば、すぐに思い浮かびませんか？

そんな、地域に根付き、何十年も続くイベントのきっかけを作った団体こそ、春日井JCなのだそうです。春日井青年会議所は、その名の通り春日井市に縁のある若者たちが、本業の傍ら、地域に向けた活動をしている団体です。メンバーに共通するのは、春日井市を明るく豊かなまちにしたいという想い。



「春日井JCで脈々と引き継がれる若者たちの熱い想い」

春日井青年会議所、春日井JCという言葉は聞いたことのあるけれど、よく知らないという方が多いのではないのでしょうか？それでも、わいわいカーニバルや春日井まつりと言えば、すぐに思い浮かびませんか？

そんな、地域に根付き、何十年も続くイベントのきっかけを作った団体こそ、春日井JCなのだそうです。春日井青年会議所は、その名の通り春日井市に縁のある若者たちが、本業の傍ら、地域に向けた活動をしている団体です。メンバーに共通するのは、春日井市を明るく豊かなまちにしたいという想い。

川村吉秀さんは「春日井JCの50年間を振り返ると、自分自身が子ども頃の頃の思い出として残っているできごとが、実は春日井JCが企画・運営していた事業だった、ということが数多く出てきて驚きます。春日井まつりのように毎年のイベントとして定着した事業もありますが、現在行っていない事業でも、その内容を見てみると、その当時の地域の課題に対して先輩方がどれほどの想いを持って取り組んでいたのか圧倒される事業ばかりです。そして、50年間事業は変化し続けようとも『春日井市を明るく豊かなまちにしたい』という想いは一貫している事に気付かされます。そしてこれからも、この想いは私たちが引き継ぎ、更に次の世代へと伝えていきたいと思っています」と語ってくれました。

## ミッション：全国に春日井の良さを発信する。

そんな50周年という節目の年を迎えた春日井JCが、この秋に企画しているのが『夢樹く宇宙にとどけ!30000コのゆめふうせん』というイベントです。イベント企画のきっかけは、全国の誰にでも「春日井市と言えればこんなまちだよ!」と一言で伝えたいという想いでした。そのために春日井JCのメンバーが動き出したのは2017年の秋のことだそう。様々なアイデアをひねり出しては、メンバーが集まり日々議論。しかし最終的には「このアイデアでは何かが足りない……」と振り出しに戻ることを繰り返すうちに、あっという間に3ヶ月が経過していったそう。

「当時は、すべての春日井市民のために何が出来るのだろうか?と考え、本当に眠れなくなるくらい悩みました。子どもに心配されてしまうくらい。そんな不安そうなお子を見ても、『ふと』多くの人を笑顔にしたいのならば、まずは家族を笑顔にすることを考えよう』と思ったんですね。」と話してくれたのは、春日井JC副理事長で、今回のイベントのリーダーを務める川村裕司さん。

「家族を笑顔にするイベントとは?」という視点で春日井JCのメンバーと相談し、たどり着いたテーマが「夢を語る」ということでした。

## 夢を語ることで誰もが笑顔に

夢を語るの、子どもだけではなく、大人も同じです。周囲の人に夢を語ることで、自分自身がなればいけないことが明確になったり、応援してくれる人が現れたり、自分自身も前向きになれる。そしてその姿は、家族や周囲の人を笑顔にする力があると思うのです」と川村裕司さんは言います。



夢を語ることは、一人ひとりが笑顔になれる第一歩。そして、その一歩が周囲の人を笑顔にする第一歩にもなる。だから、春日井市民がみんな夢を語れば、春日井のまちが明るく豊かなまちになっていく。

みんなが夢を語る方法を考えたときに、思い浮かんだのが、一人ひとりの夢を託した『ゆめふうせん』

## みんなの夢で春日井の空を埋め尽くしたい

「30,000個のふうせんが一緒に放たれる。想像できませんよね?それもそのはず、これだけの数の一度に放つバルーンリリースのイベントは全国でも珍しいのだそう。そのために、全国でも有名なバルーンアーティストが集結してイベントを支えてくれます。しかし、実はまだ当日に放つことができるふうせんの数は決まっていけないのだそう。こういったイベントで、安全に一緒に放つことができるふうせんの上限の30,000個を準備しているのですが、実際に放つのはこのイベントに集まった『夢』の数だけ。今回の放つのはただのふうせんではなく、『ゆめふうせん』です。30,000人の夢を、30,0000個の『ゆめふうせん』にするため、齊藤靖子さんを中心に、総勢10名のバルーンアーティストさんと100名のボランティアさんに協力いただく予定をしています。なので春日井市のみなさん一人ひとりの『夢』を集まらなければ、このイベントを成功させることはできません。現在、ふうせんに込めるみなさんの『夢』を春日井JCのホームページやSNSで募集しています。ぜひ、みなさんに夢を乗せた30,000

## 全国的に有名なバルーンアーティストが集結!



0個のゆめふうせんで春日井市の空を埋め尽くしませんか?と川村裕司さん。

「当日は、語られた夢をみんなで共有できるように、会場に掲示することも考えています。自分の夢を探しに、また他の人の夢も見に来て欲しいですね。きこもみんなが明るい気持ちになれると思います。子どもだけじゃなく、大人にこそ夢を語る姿を見せて欲しい。今回のイベントが、春日井市のみなさんの背中をほんの少しでも押せるきっかけになると嬉しいです。そして30,0000個のバルーンリリースの話とともに、『春日井市って誰もが夢を語るまちなんだ!』というメッセージを全国に向けて発信したいと思っています!と理事長の川村吉秀さんも話してくれました。

### ユメツク 夢樹

## さら 宇宙にとどけ!30000コのゆめふうせん~

**場所** 中央公園(春日井市鳥居町松町3-4) **日時** 9月16日(日) 10:00~16:00

**内容**

- 各種飲食ブースの集まるマルシェ
- 市内団体・アーティストによるステージパフォーマンス
- バルーンアーティストによるバルーンアート配布
- 子どもが遊べる巨大ふわふわ遊具
- メインイベントのバルーンリリースによるフィナーレ

**春日井JCではみなさんの夢を募集しています!**

※ニックネームによる投稿可

**フェイスブック** [https://www.facebook.com/kasugaijc/]

**ホームページ** [https://www.kasugai-jc.com/balloon/]

**LINE@** [@kasugaijc]